



人類に奉仕する
ロータリー



「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ジョン・ジャーム 2800地区ガバナー：長谷川憲治 ガバナー補佐：長沢 一好
会長：寺崎 利彦 幹事：浅野 裕幸
会報・史料委員会 委員長：佐藤 直人 委員：金田 亮一 山田 仁

第2165回例会

2017-3/7(火) 天気(曇り)

- 例会場：ホテルキャッスル
- 点 鐘：PM12:30 寺崎 利彦 会長

- 司会進行 (SAA)：谷口 義洋 君
- ロータリーソング：「国歌」「四つのテスト」

会長挨拶



皆さんこんにちは。日曜日は啓蟄でした。寒晒し蕎麦の天日干しが終わり、室内での乾燥に移り、あと1カ月ほどかかりそば粉に挽く事が出来るようになります。4月11日には、美味しい寒晒し蕎麦を食べて頂けると思います。お楽しみに。また、今週11日は6年前

になりますが、東日本大震災の日です。今思い出しても、胸が痛くなる思いです。南ロータリークラブでは、毎年被災地を訪問して奉仕活動を続けています。今年も出来る限りの奉仕活動をしたいと思っていますので、皆様のご協力をお願い致します。

本日は昨日と異なり寒のもどりでもとても寒さを感じます。まだまだ冬の下着は離せないようです。

幹事報告 浅野 裕幸 幹事

1. 次週3月15日(水)開催のファイヤーサイドミーティングの出欠が昨日までとなっておりますが、多くの会員に参加していただき、ロータリーを学び親睦を深めていただきたいと思います。まだ余裕がございますので、皆様のご参加をお待ちしております。
2. 本日例会終了後、理事会を開催いたします。理事の皆様はよろしくお願いたします。

委員会報告

親睦活動委員会 土肥 成二 君

3月の誕生祝いは、伊藤 誠君、松田勝彦君の2名の方です。おめでとうございます。



ニコニコBOX 佐藤 学君

- 伊勢 和正君 本日卓話をしていただきます森谷様、よろしくお願いたします。
- 伊藤 誠君 誕生日のお祝いをしていただきまして、ありがとうございました。
- 熊谷 昌和君 さくらんぼテレビの「昼ドキ!TV やまがたチョイス」に私が出演しました。
- 鈴木 正則君 妻の誕生日にお花をいただきました。ありがとうございました。
- 浅野 裕幸君 先日は「四つのテスト」の額をいただき、ありがとうございました。
- 佐藤 学君 毎朝「四つのテスト」を見て出勤しております。ありがとうございました。

本日の一言

質問 あなたの健康法を教えてください。

「毎日のウォーキングが私の健康法です。毎日夜に30分ウォーキングして、ストレッチをしています。その後の食事が大変美味しいです。」



稲村 佳宏 君

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本 日	53名		34名	
前回修正	53名	49名	49名	100%
他クラブで メイクアップ された会員				

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率
算出会員数とは？ 出席義務会員+メイク免除会員の出席者
出席会員数とは？ 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員

例会場/ホテルキャッスル 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30

事務所/山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月 曜 日

山形西 山形イブニング

火 曜 日

山形中央

水 曜 日

山形

木 曜 日

山形北

金 曜 日

山形東



「モンテディオ山形現状と今後の方針」

株式会社 モンテディオ山形 代表取締役社長
森谷 俊雄氏

2016年度損益見通し

- 今年度の着地は、純利益で、予算比 35百万円増の ▲20百万円前後を見込んでいます。
 - 主な増加要因
 - ✓ 入場料収入の確保 +20百万円（シーズンシートの確保、単価向上）
 - ✓ コストコントロール +40百万円（販売管理費削減、遠征費等の経費削減、勝利給減等）
 - 主な減少要因
 - ✓ 広告料・会費・募金 -27百万円（J2降格による減額等）
- 純資産は78百万円前後での着地を見込んでおり、健全経営を維持するための純資産額を堅持しています。

スポンサー・広告料・会員会費収入状況

- スポンサー・広告料・正会員及び賛助会員会費収入は、J1昇格による新規獲得分や既存スポンサーの増額分の維持に努め、予算（2015年度・J1レベル）よりは落ち込んだものの、2014年度（前回J2時）を大幅に上回る結果となりました。

入場者数、SS・FC及び入場料収入状況

- 入場者数は、2014年度と比較すると僅かに下回りました。
- 入場料収入は、「シーズンシートの売上拡大」、県民応援デーの集客拡大等による「単価向上」により、増加させることができました。

観客動員の課題（外部環境）

- 山形のマーケット縮小に加え、Jリーグチームのファン人口の減少が続き、外部環境は非常に厳しい状況です。

観客動員の課題（入場者数の推移）

- モンテディオ山形の平均入場者数は、J2での1試合平均入場者数は2012年をピークに、減少トレンドとなっています。
- 2017年の入場者数を前回J2降格時の減少率（▲7.1%）で試算すると、5,810人となり、今期よりも大きく減少する可能性が高いです。

入場者数・入場料収入 拡大に向けての方針

- （現在の課題である）新規顧客の拡大に向けて必要なことは、①「コンテンツの魅力高め」、②「県民の皆様へ魅力を伝えること」です。
- コンテンツの魅力高めるために、「（原点に立ち返り）最後まで諦めないサッカー」「ホスピタリティの向上」を実施する方針です。
- 県民の皆様へ魅力を伝えるために、「監督・選手からの情報発信の強化」「“楽しみの場”としてのプロモーション強化」を実施する方針です。

2017年度予算概要

- 末期予算は、純利益で黒字確保する方針としました。
 - ← 2期連続赤字の回避
 - ← J1復帰のための強化費確保
- J2 2年目で、広告料収入の落ち込みが予想されますが、営業体制を強化することで、今期レベルを維持する予算としました。
 - ✓ 営業部がスポンサー・会員の営業活動に専念できる体制構築
 - ✓ グッズやチケットの法人営業強化
- 同様に、入場料収入も減収が予想されるもの、各種集客施策を強化することで、今期レベルを維持する予算としました。
- 集客施策等、売上に結び付く経費は確保する一方で、間接コストについては極力削減し、チーム人件費は、昨期の予算レベルを確保しました。

今後の方向性（1）

- 直近3シーズンの結果から、自動昇格の確立を高めるためには11億円、PO進出の確立を高めるためには6億円のチーム人件費が必要であると推察されます。
- チーム人件費が5億円を切ると、プレーオフ進出の確立もかなり低くなるのが現状です。
- さらに、チーム人件費におけるJ1残留と降格のボーダーラインは10億円程度です。また、過去3年間、チーム人件費が6億円を切るチームは全て降格しているのが現状です。
- J2を勝ち抜き、J1定着を目指すために、“稼ぐ”ことを重視しなければいけないステージであると考えています。

アカデミー（2016シーズン振り返り）

- モンテディオ山形ジュニアチーム（小学生） 村山地区にて新設
- ジュニアユース村山 の躍進
 - ✓ みちのくリーグU15 東北南ブロックで優勝、高円宮杯全国大会に出場（12/17開幕）
- コースの躍進
 - ✓ プリンスリーグ東北：終盤まで優勝争いを繰り広げる
 - ✓ 日本クラブユース選手権：プレミアリーグ勢（国内トップリーグ）に対等の戦いを見せる
 - ・ 柏レイソル戦 0-0、京都サンガ戦 0-1（試合終了直前の失点）
 - ✓ トップチームとコースの連携を強め、キャンプにも4人の選手が参加

新スタジアム推進に係る進捗報告

- 新スタジアム構想検討委員会（2015.6～12）
 - 2015年12月に構想書「スタジアム整備検討の基本的骨格について～スタジアムは地方創生の新たな起爆剤～」を公表
- 株式会社モンテディオ山形取締役会内 作業部会（2016.5～7）
 - 弊社取締役会内に設置した作業部会にて、新スタジアムの実現に向けて、議論を前進させるために必要な事項について検討
 - ✓ 構想実現には、スタジアム建設・運営を目的とした推進事業体が必要であること
 - ✓ 推進事業体は、オール山形で推進できる組織を目指すこと
 - ✓ 推進事業体設立に向けた設立検討委員会の立ち上げに向けた準備を進めること
- 新スタジアム推進事業体設立検討委員会（2016.11～2017.1）
 - 基本計画を決めて資金を調達し、建設後の運営にも携わる新たな株式会社について、2月の設立に向けて出資を募ることを正式に決定
- 新スタジアム推進事業体設立発起人会（2017.2～）
 - 新スタジアム推進事業体設立発起人代表を寒河江 浩二氏と決定。発起人を中心として今後出資調整等を進めていくことについて確認
 - 会社設立後については、新スタジアムの事業プランとなる基本計画の策定に着手し、基本計画策定後、事業化に向けたステップに繋げていくことを確認

